

令和3年度 職員（個人）英語自校評価（％） 下段は保護者評価

評価の窓 4：良好 3：やや良好 2：努力を要する 1：かなり努力を要する 0：わからない					
評 価 項 目	4	3	2	1	0
児童は、英語に親しもうとする態度が育ってきた。	4 28	58 38	38 24	5	5

英語について、本校職員の自己評価は、良好とはいえない結果となっている。

小学校英語の目標は、「英語力の推進」と「国際理解の推進」と設定され、その目標達成のため、本校でも実践を重ねてきている。

低学年については、英語遊びを通じた学びであるため、モチベーションが高く、学び進めることができるが、学年が上がるにつれて、学習内容も難しくなり、子供が英語を学ぶ目的を見失ってくる。それに伴い、子供のモチベーションが下がり、教師も英語指導に対する迷いが出てきたことが、今回の自己評価の結果に表れてきている。

小学校に英語が導入された理由として、小学校段階では「音声を柔軟に受け止めるのに適していること」と「言語や文化に対する関心や意欲を高めるのに適していること」といった子供の発達特性がある。これらを生かす授業の在り方を更に考えていく必要がある。